

西条小学校第2回学校運営協議会

- 1 日 時 令和4年10月26日(水)
午後1時30分～午後3時35分
- 2 場 所 鴨川市立西条小学校 校長室
- 3 参加委員 会長 庄司 利男、副会長 福田 洋香、高橋 和夫、小原 好一
川名 絵美、岡野美智代、濱崎 順治 PTA会長 高橋 由(8名)
- 4 報告事項
 - (1) 学校評価アンケートについて
 - ・保護者及び教職員
 - (2) 2学期の教育活動について
 - ①主な行事について ②学習指導について ③生徒指導について
 - ④PTA行事における取組について ⑤スポーツ団体長会議について
 - (3) 今後に向けて
 - ①学習指導における基礎・基本の定着及び児童の思考力・判断力・表現力の育成及び主体的で対話的で深い学びの錬成
 - ②体力向上への取り組み ③生徒指導への取り組み ④安全への指導
 - ⑤次年度へ向けた取り組み：各推進プロジェクトの機能を生かした取り組み
 - (4) 授業参観
 - ・1年(音楽) ・2年(図工) ・3年(社会科)
 - ・4年・5年・6年(千葉交響楽団の音楽鑑賞)
- 5 協議事項
 - (1) 校舎の修繕箇所について
西条小学校の修繕が必要と考える箇所について
 - ①雨漏りがする箇所について
 - ・雨漏りの現状や被害状況とその対策等について
雨漏りがしている場所が腐食しカビが生えている部分があるなど、衛生面で気になる部分がある。
 - ・児童に対して配慮すべき点について
3階部分の雨漏りがひどく、特に大雨などの時は大量に水が漏れるため、大きな漏斗を自作し大きな場ごみ箱で受け止めるように作ってある。それが、廊下を占領し子供たちが移動する場合には、大変邪魔な存在となっている。
 - ②コンクリートの爆裂について
コンクリートの爆裂とは：校舎のコンクリートの中に入っている鉄筋が、錆びて膨張することによりコンクリートが裂けて落下すること。
 - ・ベランダや昇降口、職員玄関等に、爆裂している箇所が多数見られ、危険な場所が多い。
 - ◎運営委員からは、上記内容を踏まえ児童に危険があるものについては、早期に対応する必要があると判断し、請願書を作成して教育委員会に提出することになった。
 - (2) PTAの役員削減について
現在、西条小PTAの委員が112世帯なのに対し、役員数が44名で全体の39.3%が役員であるという現状である。また、今後世帯数の増加が見込めないことから、このままでは保護者の負担がますます大きくなることが予想される。そこで、保護者からご意見を募るためにアンケートを実施し、意見集約をしてPTA本部役員会及びPTA役員会で諮り、臨時総会で決裁をしたい旨の意向を示した。
◎運営委員からは、しっかりと意見集約をして慎重に議論を重ねてほしい。また、人数を減らすだけでは、一人にかかる負担が大きくなることから、PTA行事全体を見直すことを考えてほしいと言った意見が出た。